

(款) 45土木費 (項) 15河川費 (目) 10河川維持費

◎河川・雨水施設維持の経費

河川維持補修事業

河川課

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

下水道・河川:公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るとともに、市民等に親しまれる河川づくりを進めるため。

効果 河川護岸の崩壊等を未然に防ぐことや、市民等に親しまれる河川づくりを目指す。

【事業の内容】

(1) 河川維持補修事業

- ・ 準用河川等の護岸や河道の補強・修繕工事を行った。
- ・ 笛田調整池ポンプ機器の受電システム変更のための実施設計業務委託を行った。
- ・ 神奈川県河川協会へ参加した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

準用河川等の修繕(5-6-2-①)

雨水施設の修繕(5-6-2-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
69,190	64,190	57,343		6,847
主な支出内訳				
・ 河川維持補修事業				
河川管理施設突発的修繕料				4,190
雨水施設修繕料				6,195
笛田調整池施設改修実施設計業務委託料				9,324
家屋事前調査委託料				263
準用河川等維持修繕工事請負費				37,024
河川維持修繕工事(関谷川排水区)城廻245番地先 管渠工 L=13.6m				3,066
河川維持修繕工事(準用河川新川)常盤165番地先外 根固工 L=98.0m 敷張工 L=50.0m				29,180
河川維持修繕工事(準用河川砂押川)岩瀬583番地先 根固工 L=35.0m				2,835
河川維持修繕工事(準用河川新川)梶原98番地先 護岸補強工 L=15.0m				1,943
神奈川県河川協会負担金				280



平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)市内の4つの準用河川(砂押川・神戸川・小袋谷川・新川)については、護岸は整備済だが、整備年度が昭和40年度から50年度であることから、護岸基礎部の洗掘など老朽化が著しく見受けられる。しかし財政状況から改修延長は微増であり、計画通り進まない状況である。 (2)財政状況から施設修繕計画が実施されていないことから、今後良好な維持管理を保持することが危惧される。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1)規定内の予算で、護岸の修繕を進めるため安全性を考慮しながら低廉な工法を検討した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (2)財政状況から施設修繕計画が実施がなされていないことから、今後良好な維持管理を保持することが危惧される。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (2)修繕計画に基づき、関係部局と協議し、早期の施設改修に向け努力する。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	・近年の都市型水害の被害状況から、準用河川や市街化調整区域の水路等の補修・補強及び浚渫等の事業の拡大を図る。				
担当課長氏名:		河川課長 稲葉博行			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	・河川維持補修事業を計画的かつ効率的・効果的に行う。				
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		